

# さなぎ達通信

平成 24 年 10 月号

VOL.31



特定非営利活動法人 さなぎ達

email:sanagitachi@nifty.com

〒231-0026 横浜市中区寿町 3-9-8 TEL:045-228-1055

皆さまのおかげで、2012年4月より「認定」NPO法人を取得できました。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## このまちの変化にともない

さなぎ達理事 杉本 照夫

さなぎ達の活動の中心場所である「寿地区」は、横浜市中区にある日本三大寄せ場（他は東京・山谷、大阪・釜ヶ崎）の一つ、昭和 30 年以降に形成されたのが特徴です。

JR 石川町駅を挟んで、観光地として有名な中華街の反対側にあり、200メートル×300メートルの小さな一画にあります。

ここには、“ドヤ”と呼ばれる約 120 軒もの簡易宿泊所（1室約 3 畳）が建ち並び、6500 人前後が生活しています。住民の多くは男性単身者であり、その約 85%が生活保護受給者です。

また、平成 21 年度の高齢化率（65 歳以上の割合）は、全国平均 22.7%の約 2 倍、『45.5%』（平成 21 年度横浜市高齢化率：19.2%）と著しく高く、地区の高齢化は大きな課題とされています。

また、一方で若い世代の流入も増加の一途をたどっており、精神障害、知的障害、リストラ、派遣切り、アルコール、ギャンブル、覚醒剤など問題を抱えています。

ここにさなぎ達の活動拠点「さなぎの家」があります。「寿地区」の変遷とともに、ここを利用される方にも変化が見られます。やはり、若い世代の方々が多くなってきたことです。それぞれの方々が、それぞれの地域で、今までなんとか生活ができていた方々が生活できなくなり、ここに集まってきたのです。

先述した若い世代が抱える問題、ここは、それを容易に受け入れてくれますが、出口が準備されていません。また、制度的支援を受けるには、この環境

に紛れてなかなか支援が受けにくいところでは

さなぎ達は、このような現状に新たな事業を計画しています。それは、「寿地区」から道一本隔てた「寿地区外」に「さなぎの家」のサテライト施設「さなぎの家Ⅱサテライトスペース（仮称）」を設置することです。そして、おとなりは、障がいある方々に対して、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第六条の十第二号に規定する者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う「障がい者就労継続B型事業所」を設置します。

「さなぎの家Ⅱサテライトスペース」は、さまざまな作業等を通して就労支援へ繋げるきっかけ創りに活用します。一方、「障がい者就労継続B型事業所」は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう就労支援を専門的に提供します。

隣接させたねらいは、まず「障がい者就労継続B型事業所」が「寿地区」に特化した拠点でなく、広く地域社会の拠点として運営されることです。「さなぎの家」から「さなぎの家Ⅱサテライトスペース」へ歩みだした方々には、その結果としてこの機能をフルに活用できるようになります。

先日出席した福祉関係の研修会で、「ロマンとそろばんは、相対するよ!」、そうしていかなければ福祉関係の事業は前進しないという話を聞きました。

さなぎ達は、いつも赤いそろばんのことで喧々囂々しています。新しい事業が何色のそろばんになるか…、担当理事としては、その責任の重さを痛感しております。

# 活動のご報告 (6月～8月)

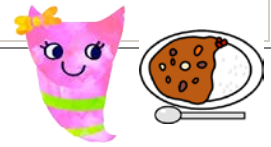
今年も、猛暑続きの暑い夏になりました。「さなぎの家」には、涼を求めて、ゆっくり過ごす方が多くいらっしゃいました。

	日々の活動	その他の活動
6月	<p>さなぎの家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶やお菓子、衣類・日用品の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント：美術館鑑賞</li> <li>・スポーツ大会</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働事業 SOS 班対応</li> <li>・清掃活動・緑化活動</li> </ul> <p>さなぎの食堂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂の営業</li> </ul> <p>KMVP 事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント：ボーリング大会</li> <li>・臨時総会開催</li> <li>・寿パーティー開催</li> <li>・インターン生受入開始</li> <li>・野菜市参加</li> <li>・ワークショップ開催</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のみまもり活動</li> </ul> <p>寿 JUMP 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青木さん食堂参加</li> </ul> <p>理事会</p> <p>見学、講師対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント：スポーツ大会</li> <li>・食堂のちらし配布</li> <li>・炊き出し参加</li> </ul>

「認定」NPOのお祝い&日頃お世話になっている方への感謝をこめて7月28日、さなぎの食堂で「寿パーティー」を開催しました。



毎年恒例のカレー炊き出し！終盤にはご飯が無くなってしまふほどの盛況ぶり。今年のカレーは、本当に美味しく出来ました。隠し味のソースが決め手だった、とのこと！



「さなぎの家」では、利用者さんを中心に、月に一度イベントを開催しています。6月は、絵が大好きな方のリクエストで「横浜美術館」へ。7月は、前々からリクエストの多かった「ボーリング大会」。中でも、人気No.1は「スポーツ大会」。8月は、卓球やバドミントンで盛り上がりました。

夏休み期間は、毎年たくさんの学生さんが、ボランティアやインターンシップ（自分の将来に関連のある就業体験を行える制度）で寿町を訪れます。今年も3人のインターン生が、さなぎ達の活動に参加しました。次のページに、2カ月の実習を終えた大学3年生の体験談を紹介しています。



新規事業（冒頭の杉本理事の文章をご参照ください）を開始する為、7月に臨時総会を開催しました。ここでの決議により、定款の事業の種類に、障害福祉サービス事業を追加することとなりました。それに伴い、「さなぎの家」も移転致します。詳細は、決まり次第ホームページ等でご報告させていただきます。

今後のさなぎ達に、どうぞご注目下さい。

## データブック

	6月	7月	8月
さなぎの家 利用者 (人)	3669	3693	3350
物品配布数	3425	3320	2702
木曜パトロール 野宿者総数 (人)	265	265	休
寿 JUMP 参加者 (人)	1	1	1

木曜パトロールは、11月～3月は毎週木曜日、4月～10月は第2、第4木曜日に行っています。(8月はお休み)  
毎回はちょっと…という方でも、1回から、ご都合に合わせてご参加いただけます。まずは、お気軽にお問い合わせ下さい。



## 今号の〇〇さん

「さなぎの家」に行く  
と、いつも、優しい表情  
で迎えてくれます。

富山県出身。  
川原さんです。



**名前：**川原 康博 (52)

**これまでの経緯：**富山ではいろいろな仕事をしましたが、印象に残っているのは、長距離トラックの運転手をしてきた時のことです。この業界は競争が激しく、運賃のダンピングが盛んに行われ、そのシワ寄せで人件費が削減となり、自主退職しました。その後、一般住宅の基礎工事の仕事を日雇いでしていましたが、バブル崩壊で仕事がなくなり、上京しました。

**さなぎの家へ来るきっかけ：**たまたま横浜スタジアムのそばで知り合った人に薦められて。

**今の暮らしについて：**

「さなぎの家」にお手伝いをする傍ら、「野毛山荘」で定期的に高齢者の話し相手などのボランティアをしています。

**今後について：**介護の資格をとりたい。今は、食事や車いすの介護が出来ずに、もどかしさを感じているので、介護2級の免許を取得し、生活保護から抜け出した生活をしたいと思っています。

## インターン実習を終えて

夏休みの間、さなぎ達で実習をさせて頂いた学生です。「さなぎの食堂」を中心に「さなぎの家」や「KMVP」の活動にも少しずつ参加しました。

食堂ではご飯盛りや皿洗いの他、時々食材を切る作業があります。食堂でお手伝いしているけど料理はできない！と戦々恐々としていた私に野菜の切り方を教えて下さったのはAさん、食堂歴ウン年のベテランの方。ギョッと笑って話すと食堂の雰囲気がぱっと変わるような明るさです。

「もう慣れたやろ」「は、はい。ぼちぼち」「やることいっぱいあるからね、ひとつずつ覚えていけばいいから」とヘタの取り方から丁寧に説明をしてくださいました。Aさん自身、様々な職についてその度に学んだそう。

「人間は一生勉強だけね」これも食堂で働き始めてから教わったよ、と話しながら隣で刻んでいくAさんの手つきはリズムよく手早い。勉強していけばいつかこんな手早くなるのか…！？

2周以上年の離れたAさんの言葉だからこそ、納得というか、負けていられないというか。といってもまだ同じ大きさに切りそろえられないのですが…。

Aさんからも、他の方からも、日々、仕事の仕方から恋人の選び方まで、大学では習わない事をたくさん教えて頂きました。

本当にありがとうございました。



## 寿への入り口～さなぎの食堂との出会い 2002～④

さなぎの食堂は10月で10年目を迎える。

「パン券で3食温かいご飯を」をコンセプトに始めたのだが、そのパン券も今年9月で発行自体が終了になった。キッチンも今のとなりのスペースだったし、客席もすべて立食。メニューは当初カレー・豚汁・豚丼と4つくらいのもだった。ちなみにそのときのお客さんは1日で120人位。

当時はスタッフも街のかたが多くまだまだシロウト集団、2004～2005年あたりはパン券もあって、今よりお客さんももっと多く、お客さんやスタッフのいざごどもしょっちゅうで、毎日がお祭りさわぎでした。



さなぎの食堂店長  
岡野 慶光

それでも毎年少しずつ食堂は成長し、今では調理経験者も増え、高齢になったお客さんたちも毎日来て、静かにご飯を食べています。パン券が無くなったことは、正直きついところではありますが、ご寄付やボランティアさん、また、良いチームになったスタッフの頑張りでぎりぎり運営しています。

日々のお客さんとの些細なやりとりのなかで、少しでも温かさを伝えられたらと、試行錯誤はまだまだ続きそうです。

お近くにお越しの際は、是非ご来店下さい。